

平成31年4月定例記者会見

【4月1日(月)午後1時／4階特別会議室】

会見項目

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1 宮古市の新たな指定有形文化財について | (文化課) |
| 2 青森県黒石市浅瀬石川さけ稚魚放流会事業について | (水産課、企画課) |
| 3 平成31年度宮古市津波避難訓練について | (危機管理課) |
| 4 浄土ヶ浜クリーン作戦について | (観光課) |
| 5 第38回さけ稚魚壮行会について | (観光課) |
| 6 客船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港について | (港湾振興課) |

会見内容

別紙資料1～6のとおり。

記者との質疑

テレビ岩手記者

資料2の「青森県黒石市浅瀬石川さけ稚魚放流会事業」について、20年振りに行うとのことですが途絶えた理由と、復活した経緯を詳しく教えてください。

市長

これまで、平成2年から平成11年まで計10回実施しており、それを一区切りとして終了しておりました。その後、震災等があり実施できない期間もございましたが、再開に向けて準備をし、実施環境が整ったことから今回の開催に至りました。

NHK記者

資料1の「宮古市の新たな指定有形文化財」について、昭和三陸地震津波写真乾板は、所有者が個人蔵となっておりますがお名前は分かりますでしょうか。

市長

資料では個人蔵としておりましたが、所有者の方からは氏名公表について確認済みでございます。所有者は田老の津田時計写真店さんです。

朝日新聞記者

乾板の写真はどこで撮影できますか。

市長

現在、崎山貝塚縄文ミュージアムの収蔵庫で預かっていますので、そちらで撮影可能です。

NHK記者

指定有形文化財の指定日が3月25日ですが、なぜこのタイミングになったのですか。

市長

文化財の審議会の日程の関係もあり、3月25日となりました。

NHK記者

資料3の「平成31年度宮古市津波避難訓練」について、キーボックスを避難所に設置というのは、避難所に鍵が入っているボックスがあるということですか。

市長

避難所にボックスを設置しており、暗証番号にダイヤルを合わせて鍵を取り出す仕組みになっております。

岩手日報記者

暗証番号を把握しているのは、市の担当職員と市民の代表者ですか。

市長

はい、その通りです。

岩手日報記者

越田山の避難路の訓練は、完成後初めての開催ですか。

市長

2月に完成したばかりで、本来であれば3月の避難訓練で行う予定でしたが、中止になりましたので、今回が初めてとなります。

NHK記者

同じ場所でドローンの撮影も行われるようですが、具体的にどのような様子を撮影するのですか。また、どのような目的で撮影するのですか。

市長

避難している様子、避難場所に集まった様子などドローンならではの高いところからの視線で撮影してもらいます。元々情報収集に関する災害協定を結んでおり、上空からの情報を集める訓練の一環として今回避難している様子を撮影するものです。

NHK記者

資料6の客船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港について、これから寄港までの間に具体的に準備の動きはありますか。

市長

先日、もてなし本部の第3回の会議を行いました。各グループ、部会、セクションごとに継続して今も打ち合わせを行っております。ツアーの申し込みも継続していますし、大学生等のボランティアの申し込み締め切りも今月の8日までです。全てが進行中で皆さんのご意見を聞きながら、それぞれの担当部署で取り組んでいます。

正式に決定しているボランティアは、宮古第二中学校の2・3年生、宮古第一中学校の全校生徒、併せて200名。大学生等の申し込みも含めて、事務局の目標は300名超で

進めています。

NHK記者

集まったボランティアの研修等を行いますか。

市長

国際交流協会でボランティアの対応をすることになっていますが、今のところ、宮古第二中学校は岸壁でのボランティア、宮古第一中学校は末広町商店街でのボランティア、現在、協議中ですが宮古商業高等学校は、キャッシュレスも含めた商店街及び岸壁での物販の店舗等のテスト的な取り組みを予定しています。合同での訓練は予定していませんが、事前に何をやってもらうか詳細についてお知らせする予定です。

【その他質問事項】

朝日新聞記者

新年号「令和」についてどう受け止めていますか。

市長

そのうち慣れるかと思いますが、何とも言えません。

朝日新聞記者

宮古市内に「令和」に関連する名前、企業等がありますか。

市長

宮古市内では聞いたことがありません。

朝日新聞記者

4月30日の退位の日、5月1日の即位の日は連休になるが宮古市としては何か行事は行いますか。

市長

行事予定はありませんが、国旗は掲揚します。

朝日新聞記者

元号が変更になることで市の業務で特に大変なことはありますか。

市長

電算処理の対応は速やかに行いたいですが、紙で作成してあるものについては対応を考えなければいけません。申請書など旧年号で印刷済み、配布済みの書類もあることから、訂正対応やチェックなどが大変になります。

朝日新聞記者

年号切り替えの対応については、部署ごとの対応になるのか、それとも全体でチームを作って対応するのか。

市長

全体では対応できないと思います。庁内で関係する部署を集めて対応を万全にするように打ち合わせを行います。前回と違い今回は生前退位ということであったので、印刷

物を控えめに行うなど対応を図っていた面もあります。

朝日新聞記者

リアス線が開業したが、先日の三陸鉄道取締役会で今季の収支計画が示され、今後更に経営が厳しくなることも想定されます。赤字の見込みについて宮古市ではどのように見えていますか。

市長

収益を上げられるように普段乗る人の数を増やすことが必要です。みんなでマイレール意識を持ち、1ヶ月に1・2回三陸鉄道に乗る数を増やしていきたいです。また、駅から少し遠い所にお住いの方でも、パークアンドライドを整備している駅もあるので、そちらを利用し公共交通機関の利用につなげていきたいです。

宮古の場合は新たに3つの駅を足すことによって、宮古で乗ったり降りたりする人の数を増やそうとしています。また、三陸鉄道を楽しんでもらう人、支援をしてもらう人の数を増やすとともに、三陸鉄道だけではなくJRも巻き込んだ形でやっていかなければならないと考えています。一つ一つ課題をクリアしていくしかありません。

鉄道はライフラインだと思います。水・電機などエネルギーと同じであり、このライフラインをみんなで支えていく精神でこれからも活動していきたいです。

資料 1 宮古市の新たな指定有形文化財について

趣旨・目的	宮古市文化財保護条例では、市の区域内にある重要なものについて指定を行うことができることとされていて、このほど2つの有形文化財を「宮古市指定有形文化財」に指定したものである。
指定の日	平成31年3月25日
内容	① 「昭和三陸地震津波写真乾板」 かんばん 昭和三陸地震津波を撮影したガラス製の写真乾板で、ガレキが堆積したりする当時の田老地域の被害状況を後世に残す、歴史資料である。 写真乾板は、津波被害を伝える記録写真の原板が保存されているという点で希少である。 東日本大震災では、この乾板を保存していた金庫が流失したが、宮古警察署に届き、一時保管され、のちに所有者に無事、返還されたというエピソードもあった。 ② 「鞭牛道供養碑」 べんぎゅうみちくようひ みちくようひ け こんいんさんもんまえ 道供養碑は、花原市華嚴院山門前にあり、1758（宝暦8）年ほうれきに茂市ふぐとりの難所工事に取り組んだ牧庵鞭牛の功績を伝える貴重な資料である。 すでに指定されている鞭牛碑べんぎゅうひと同様に重要な歴史資料である。
特記事項	◎ 市指定文化財の指定が行われたのは、約9年7カ月ぶり。平成21年9月1日に民俗文化財である「江繫剣舞」けんばいと「川井豊年踊り」ほうねんが指定されて以来のこと。 有形文化財に限ると、約9年10カ月ぶりの指定。平成21年5月21日に新里地区じゅうはちけんほしかぶとばちの十八間星兜鉢など3点が指定されて以来である。 ◎ 今回の指定によって、市の区域内にある指定文化財・登録文化財の数は、国指定が11、県指定が10、市指定が103となり、合計で124件となった。
問い合わせ	宮古市教育委員会 文化課 学芸係（☎65－7526）

資料 2 青森県黒石市^{あ せ い し が わ}浅瀬石川 さけ稚魚放流会事業について

趣旨・目的	宮古市と黒石市は、昭和 4 1 年に姉妹都市締結を行い、平成 2 8 年に 5 0 周年を迎えた。これまで多岐にわたり交流し絆を深めてきたほか、東日本大震災の際には、黒石市から多大な支援をいただき、その後も継続的な支援をいただいている。 姉妹都市締結のきっかけの一つに鮭伝説があり、両市には鮭を通じた密接な関係があることから、「鮭」をキーワードに、姉妹都市交流への関心を高めってもらうこと、黒石市の小学生に鮭に関する知識を習得してもらうことを目的として、黒石市で鮭稚魚の放流体験を実施するものである。
日時	4 月 2 2 日(月) 午後 1 時 3 0 分～2 時 3 0 分
場所	青森県黒石市 ^{あ せ い し が わ} 浅瀬石川
主催等	主催＝宮古市、黒石市 協力＝田老町漁業協同組合
内容	■宮古市から 5 万尾の鮭稚魚を提供 黒石市の小学生や市民が、黒石市内の河川「^{あ せ い し が わ}浅瀬石川」で、宮古市が提供する 5 万尾の鮭稚魚を放流する。 ■参集者 黒石市（約 7 0 人）＝^{あ せ い し}浅瀬石小学校・^{ぼ た ん だ い ら}牡丹平小学校の児童、黒石市長、浅瀬石川漁協、一般市民ほか 宮古市（数名）＝宮古市長、田老町漁協、市職員
特記事項	◎過去にも黒石市で、さけ稚魚放流会の開催実績あり。 ・平成 2 年～1 1 年に 1 0 回実施。※1 0 回で一区切り。 ・平成 6 年には、黒石市市制施行 4 0 周年とさけ稚魚放流会 5 周年を記念し、^{あ せ い し が わ}浅瀬石川河川敷に鮭のモニュメントを設置。 ◎今回は約 2 0 年ぶりの開催となる。
問い合わせ	・市水産課水産振興係（☎ 6 8－9 0 9 9）…さけ稚魚放流について ・市企画課企画調整係（☎ 6 8－9 0 6 4）…姉妹都市交流について ・黒石市企画財政部企画課市民参画交流係（☎ 0 1 7 2－5 2－2 1 1 1（内線 2 3 8））

資料３ 平成３１年度宮古市津波避難訓練について

※荒天により中止となった３月１１日予定していた津波避難訓練を改めて実施するもの。

趣旨・目的	平成２３年３月１１日、本市を含む東北地方太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらした「東日本大震災」からの教訓を忘れることなく、今後の津波災害に対する備えをさらに強化することを目的とし、津波避難訓練を実施する。
日時	４月１１日（木）午前６時～６時４０分
場所	宮古市役所、津波避難場所、津波避難ビル、津波避難所など
主催	宮古市
内容	■今回の訓練の想定 午前６時、緊急地震速報が流れ、直後に強い揺れを感じ、東北地方の太平洋沿岸部に大津波警報が発表された、という想定で行う。 ■訓練対象地域 市内の津波浸水予想区域全域 ■主な訓練内容と場所 【宮古市役所】……災害対策本部設置運営訓練 【津波避難場所】…津波避難行動訓練（市内１１１か所の高台への避難） 【津波避難ビル】…津波避難ビル避難訓練（市内５カ所の津波避難ビルのうち、３カ所※で実施） ※３カ所＝三陸北部森林管理署宿舍（磯鶏石崎）、 介護施設あお空（向町）、 後藤泌尿器科皮膚科医院（大通） 【津波避難所】……避難所開設訓練（市内３２箇所で開催）
特記事項	◎防災行政無線による放送のほかに、緊急速報メールの配信、みやこハーバーラジオへの緊急割り込み放送を行い、複数の手段により市民等へ情報伝達する。 ◎今回の特徴的な訓練内容 ◆避難した市民による避難所の開錠訓練及び避難状況通報訓練を実施

	◆<u>実災害時を想定した職員参集訓練を実施</u> ◆フェリー関係者を含め、藤原ふ頭からの避難訓練を、2月に完成した「<u>越田山^{こえだやま}避難路</u>」を使って実施 ◎市役所4階の災害対策本部室、同本部運営室の公開について <u>災害対策本部室の取材については、午前6時30分～6時40分の10分間公開</u> <u>取材を希望する人は、午前6時25分までにイーストピアみやこ1階総合案内前に集合のこと。</u>
問い合わせ	市危機管理監 危機管理課 防災係（☎68-9111）

資料 4 浄土ヶ浜クリーン作戦について

～みんなできれいに おもてなしのまち みやこ～

趣旨・目的	今年度は、大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」の寄港、三陸防災復興プロジェクト 2019 の開催など、三陸地域が注目される年となり、浄土ヶ浜を訪れる観光客等の増加が予想される。 本市を訪れる観光客等のお迎え、おもてなしの環境整備を行うとともに、あらためて本市を代表する景勝地「浄土ヶ浜」を再認識することを目的とする。
日時	4 月 1 3 日(土) 午前 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分
場所	浄土ヶ浜園地内
主催	宮古市
内容	■ 5 つのコースに分かれて清掃活動 ① 第 1 駐車場～（海沿い遊歩道）～浄土ヶ浜マリンハウス～砥石浜といしはま～浄土ヶ浜レストハウス ② 第 1 駐車場～浄土ヶ浜園地内道路（車道）～浄土ヶ浜レストハウス ③ 第 1 駐車場～第 2 駐車場～幸せの階段～砥石浜～浄土ヶ浜レストハウス ④ 第 1 駐車場～第 3 駐車場～剛つよしだい台展望台～浄土ヶ浜園地内道路～ハマユリ展望台～浄土ヶ浜レストハウス ⑤ 第 1 駐車場～（遊歩道）～竜神崎展望台～館ヶ崎展望台～御台場展望台～浄土ヶ浜レストハウス ■ 対象 一般市民 ※事前申し込みは不要。集合場所は第 1 駐車場 ■ 参加見込数 2 0 0 人程度 ※「浄土ヶ浜をきれいにする会」「三王真崎をきれいにする会」「三陸ジオパーク推進協議会」の各構成団体などに参加要請済み
特記事項	◎清掃活動終了後、ガイドによるジオサイトの解説を行う。
問い合わせ	市産業振興部 観光課 もてなし観光係（☎ 6 8 － 9 0 9 1）

資料５ 第３８回さけ稚魚壮行会について

趣旨・目的	宮古市では鮭を市の魚と制定し、鮭に象徴される豊かなまちづくりを目指して「サーモンランド宣言」を行っている。 この背景をもとに、市内の小中学校の生徒、保育所・幼稚園等の園児及び市民による鮭の稚魚放流を実施する。数年後の鮭の回帰を願いながら鮭に関する知識と環境保全意識の向上を目的として行う。
日時・場所	４月１６日（火）午前１０時（津軽石川河川敷会場） ４月１７日（水）午前１０時（閉伊川スポーツ公園）
主催	宮古鮭祭実行委員会
内容	■参加対象者 主な対象は、市内の保育所・幼稚園等の園児、小中学校の児童・生徒であるが、市民のほか、だれでも参加できる。 ■放流尾数 津軽石川河川敷会場 ５０，０００尾 閉伊川スポーツ公園 １００，０００尾
特記事項	◎雨天の場合は中止とする。 ◎参加者は各自、ゴム長靴の準備が必要となる。 ◎昨年度の参加者数は、 津軽石会場＝２２０人（園児 ９０人、児童・生徒１００人、ほか） 閉伊川会場＝４７２人（園児１５２人、児童・生徒２７２人、ほか）
問い合わせ	市産業振興部 観光課（☎６８－９０９１）

資料6 客船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港について

趣旨・目的	客船「ダイヤモンド・プリンセス」の宮古港への初寄港を歓迎するため、岸壁での歓送迎アトラクションや、市民参加によるお見送りなどを行う。
日時	4月25日(木) (入港：午前9時 / 出港：午後6時)
場所	宮古港藤原ふ頭 (F8・9バース)
主催	宮古市・宮古港利用促進協議会
内容	入出港セレモニーや岸壁での歓送迎アトラクション、市民参加によるお見送りなどを実施する。 停泊中は広域特産品の販売や、和太鼓の演奏などで乗船客をおもてなしする。 ◆入港歓迎：鍬ヶ崎小学校による「大漁祝い唄」 新里小学校による「新里太鼓」 歓迎セレモニー ◆停泊中：広域特産品の販売 宮古市国際交流協会による着付け体験、日本語名前書き サーモンくん、みやこちゃんの着ぐるみの登場 サーモンくん、みやこちゃんのエアートランポリンの設置 ◆出港見送：黒森神楽保存会による「恵比寿舞」 山口太鼓の会による「和太鼓体験」、「太鼓演奏」 来場者参加によるお見送り ユードブリュー (U W ビッグフラッグ、大漁旗、ダイヤモンド・プリンセスのカラーである「ブルー」のハンカチなどを振ってのお見送り)
特記事項	◎10万トンを超える大型クルーズ船の寄港は岩手県初。 ◎通訳ガイド・ボランティア・小中学生300人以上のスタッフで、乗船客や乗組員の皆様をお出迎えする。
問い合わせ	市港湾振興課 港湾振興係 (☎68-9093)